

平成 30 年度 学校評価 目標

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①キャリア教育の視点で小学部から高等部まで学習内容の系統性を整理し、教育課程を再編成する。</p> <p>②児童・生徒のニーズに合わせた、コミュニケーション能力の向上を支援する。</p>	<p>①新学習指導要領の内容を確認し、各学部の教育課程の内容の整理、修正をすすめる。</p> <p>②iPadを児童・生徒の自主性や主体性を引出す教材として活用を深める。</p>	<p>①新学習指導要領研修会を実施し、職員理解を進めるとともに、新学習指導要領で示された各教科の目指す資質能力を、児童・生徒の実態に照らし合わせ、教育課程を整理する。</p> <p>②各学部にiPad特命専任を指名して、活用の推進を図り深めるために、iPad学習会を継続し活用実践を共有する。</p>	<p>①新学習指導要領研修会を実施し、職員理解を進めるとともに、新学習指導要領で示された各教科の目指す資質能力を、児童・生徒の実態に照らし合わせ、教育課程を整理することができたか。</p> <p>②各学部にiPad特命専任を指名して、活用の推進を図り深めるために、iPad学習会を継続し活用し実践を共有することができたか。</p>
2	児童・生徒 指導・支援	<p>①児童・生徒一人ひとりの多様なニーズに応える支援教育を組織的に推進する。</p> <p>②専門職と協働できるシステムを構築する。</p>	<p>①児童・生徒の社会自立につながる授業実践を進める。</p> <p>②専門職等と連携を図り、総合的、多面的に児童・生徒の実態を把握し指導につなげる。</p>	<p>①いじめの未然防止として、各学部において、「いのち」の授業を児童・生徒に理解しやすい単元として取り上げ、充実させる。 高等部において、政治参加教育を1年生から計画的、段階的に取組む。</p> <p>②専門職を含むチームでのアセスメントによる実態把握と共通理解を行い、個別教育計画に反映させる。</p>	<p>①いじめの未然防止として、各学部において、「いのち」の授業を児童・生徒に理解しやすい単元として取り上げ、充実させることができたか。 高等部において、政治参加教育を1年生から計画的、段階的に取組むことができたか。</p> <p>②専門職を含むチームでのアセスメントによる実態把握と共通理解を行い、個別教育計画に反映させることができたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①小学部から高等部までの一貫性のあるキャリア教育を推進する。</p> <p>②児童・生徒の実態や地域性に合わせきめ細かく配慮した進路支援・相談の充実を図る。</p>	<p>①一貫性のあるライフキャリア教育に基づいた授業改善を行う。</p> <p>②地域の特性を活用し、自立を目指した学習を実践する。</p>	<p>①ライフキャリアを意識し「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組む。</p> <p>②公共施設や商店などを活用した学習を実施する。 自立を目指し、自力通学の取組みや見守り支援システムを充実させる。</p>	<p>①ライフキャリアを意識し「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組むことができたか。</p> <p>②公共施設や商店などを活用した学習を実施することができたか。 自立を目指し、自力通学の取組みや見守り支援システムを充実させることができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>①共生社会の実現を目指し、地域と連携したインクルーシブ教育を推進する。</p> <p>②センター的機能を充実発展させ、地域へ情報発信する。</p>	<p>①地域密着型の交流及び共同学習をより充実させる。</p> <p>②地域と連携するシステムを充実させる。</p>	<p>①各学部において居住地交流、学校間交流や地域交流会を深め、相模原市における交流教育の実証研究について、相模原市教育委員会とさらに連携を図り、取組みを深めていく。</p> <p>②「地域と語ろう」を主として、地域を巻き込んだ連携したシステムをつくる。</p>	<p>①各学部において居住地交流、学校間交流や地域交流会を深め、相模原市における交流教育の実証研究について、相模原市教育委員会とさらに連携を図り、取組みを深めていくことができたか。</p> <p>②「地域と語ろう」を主として、地域を巻き込んだ連携したシステムをつくることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教職員の専門性向上を推進するための校内システムを構築する。</p> <p>②保護者、地域と協働した、安全で安心な学校運営を行い、地域に向けた発信力の向上を図る。</p>	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する研究に取組み、組織的な指導力の向上を図る。</p> <p>②防災や災害発生後の対応について地域と協働した取組みを行う。</p>	<p>①校内研究において、OJTを意識したチーム編成での授業検討、授業参観体制の整備に取組み、教員の専門性や指導力を高める。</p> <p>②地域への積極的な告知等の方法を考え、地域と協働した防災宿泊学習を推進していく。 防災交流学习（小中高） 「自助、共助を養う」の機会をつくる。 市、自治会との連携を強化し、避難所運営会議等への参加を進める。</p>	<p>②校内研究において、OJTを意識したチーム編成での授業検討、授業参観体制の整備に取組み、教員の専門性や指導力を高めることができたか。</p> <p>②地域への積極的な告知等の方法を考え、地域と協働した防災宿泊学習を推進していくことができたか。 防災交流学习（小中高） 「自助、共助を養う」の機会をつくることができたか。 市、自治会との連携を強化し、避難所運営会議等への参加を進めることができたか。</p>